

1	審議会名	丸子地域協議会
2	日時	平成27年5月28日(木) 午後1時30分から午後14時35分頃まで
3	会場	丸子地域自治センター 4階 講堂
4	出席者	齋藤重一郎会長、丸山かず子副会長、池田佐代子委員、内田弘子委員、 小澤厚委員、工藤裕子委員、久保田和英委員、後藤有希委員、佐藤重喜委員、 清水三枝委員、関本吉人委員、塚越洋子委員、西村勇委員、宮下正明委員、 横井優司委員、吉池美智恵委員、吉田暘一委員 【欠席委員3名】
5	市側出席者	谷仲丸子地域自治センター長、丸山丸子地域自治センター次長兼地域振興課長、 石井丸子地域教育事務所長兼地域政策課政策幹、高野市民サービス課長、 横井産業観光課長、芦田建設課長、竹花丸子・武石上下水道課長、 池内丸子学校給食センター所長、越丸子消防署長 (事務局)柳沢地域政策担当係長、清水統括主査、中山主査、竹花主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	1人 記者 2人
8	会議概要作成年月日	平成27年6月8日

協議事項等

- 1 開会(丸山センター次長)
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
  - (1) 平成27年度重点目標について
    - ・資料にそって4つの重点項目を説明。「1.新たな住民自治システムの構築」「2.次代に向けた丸子温泉郷の活性化」「3.住みやすく環境に優しいまちづくり」「4.明るく親切で満足度の高いセンターづくり」
    - ・以降、協議
  - (委員) 合併十周年記念及び真田丸関係の商品・グッズについて、丸子地域内でも購入できる所はあるか。
  - (行政) 現在、丸子地域内での販売はない。観光会館の中での販売となっている。重点目標に記載の「新商品の研究・開発について」は、丸子温泉郷の宿泊関係の新商品の意味です。
  - (委員) 出来れば自治センターなどでも購入できるようにしていただきたい。お土産によいので。
  - (行政) 他からも同様な問合せをいただいていますので、観光コンベンション協会に申し伝えて検討します。
  - (委員) ごみ堆肥化基材「ぱっくん」が入手しにくい。
  - (行政) 「ぱっくん」は、丸子・真田・武石地域の各市民サービス課でも入手可。当面、品切れ心配は無いと思いますが確認します。
  - (委員) ハザードマップはいつ頃全戸配布されるのか。あと、腰越の雇用促進住宅の今の状態は？
  - (行政) ハザードマップは12月までに全戸配布の計画です。
  - (行政) 雇用促進住宅は、市の管理ではない。現在、新規受入れを中止。空いた時点で撤退のようですが、状況は確認しないとわかりません。
  - (委員) 自治会では空き家問題にもなるので、管轄の問題を越えて対応を。
  - (行政) 雇用促進住宅について、情報の収集後、お伝えします。
  - (委員) 陣場畜産団地跡地を含めた陣場台地利活用構想の素案策定を3月末までとあるが、どこが検討しているのか。
  - (行政) 廃業した陣場畜産団地の敷地は現在、市の管理。畜産団地を含めた地域全体の活用方法について、庁内の係長クラスにより構成されるワーキンググループにて検討、素案を作成。陣場台地利活用検討委員会と協議も行い素案を作成。あと、平成17年の合併前の陣場台地の当時の構想もあるので参考にします。
  - (委員) 空き家対策の市の考え方は？自治会では解決できない。

- (行政) 建築指導課で対策を検討します。情報収集してお話します。
- (委員) 陣場台地について、拡幅して下の方をワイン用ぶどうの圃場に提供する意向の有無についての意見聴取があった。ご存知か。メルシャンは、圃場の拡大の考えがあるのではないか。
- (行政) メルシャンからは、拡大して、生産量を増やしたい旨の話あり。全体構想でもあるが、ワイン用ぶどう栽培の圃場拡大の前提で考えている。
- (委員) 重点目標に、遊休荒廃農地を活用したワイン用ぶどう圃場の拡大及び6次産業化を促進とある。具体的な施策は？
- (行政) 重点目標の遊休荒廃農地活用によるワイン用ぶどうの圃場拡大とは、メルシャンのことでなく、個人や有限会社によるものです。尾野山、東内新屋地籍の遊休荒廃農地でのワイン作りの試みで、市としても支援したい。
- (委員) 6次産業化の促進の中で、メルシャンやその他の業者とで、虫食い状態で開発が進む可能性が高く、長い目でみるとよくない。市で指導していかないと、折角のものが無駄になる。今後、7市町村での統一のブランドの可能性もある。小規模事業者の参入でどういう形になるのか。この地域一帯が6次産業化するには、ブドウの生産が足り無いという試算もある。今のような支援方法では、一部の支援に終わってしまい、丸子のためにならない。素案の話は、全体でみていただけるものと思っていた。全体を把握して進めていただきたい。
- (行政) 提案内容を考慮したい。
- (委員) 昨年度は「あいさつ強化月間」があった。重点目標にないが、さらに強化していただきたい。
- (行政) これまで以上にあいさつも強化します。

#### (2) わがまち魅力アップ応援事業第2回募集について

- ・6月1日(月)~6月19日(金)第2回募集。

#### (3) 丸子まちづくり会議準備会からの報告について

- ・5月18日に第2回の準備会を開催。主にワークショップを行った。
- ・以降、協議。

(委員) 地域課題のなかで、「地域力・市民力の理解不足」の文言、どのように捉えるのか。

(行政) 地域における自助・共助・公助の概念が把握されていない旨の表現と理解を。

#### (4) 分科会及び研究会での検討状況について

##### (ア) 丸子地域の子育て支援に関する分科会

- ・4月28日に分科会を開催。武石NPO法人の視察、上田「にじいろひろば」の視察、「まるっ子カレンダー」について。
- ・5月11日に、特定非営利活動法人武石子育て支援を考える会の視察実施。

##### (イ) 公共交通に関する分科会

- ・4月28日に分科会。まりんこ号のPRや、今後の検討について。

##### (ウ) 新しい観光分科会

- ・分科会の開催なし。

#### 4 その他

##### (1) 上田市防災訓練(8月29日実施)について

- ・平成27年度上田市防災訓練について説明。
- ・以降、協議

(委員) 先日の自主防災訓練講習の際、自助、共助に加え「近助」の用語があった。どのような概念か。

(行政) 「近助」とは、共助を細かくしたもので、お隣同士の助け合いを強調するために使われたと思う。

(委員) 今後は、上田市もその捉え方でいくのか。

(行政) 基本的には「自助」「共助」「公助」の考え方です。より理解いただくために、隣同士のコミュニケーションが必要ですよという意味で「近助」が出てきたと理解を。

(委員) 防災訓練の日程等、地元への連絡が遅すぎる。地元では調整しなければならないことが多

いので、来年の予定は早めに。 / 自助と共助の訓練がとても大切だ。

(行政) 早めに地元の皆さんにお知らせします。先日、担当課へも申し送り済。

(委員) 防災訓練、塩川地区以外は実施済と思うが、来年は塩川になるか。順番で行っているか。

(行政) 各地区自治連に照会して、希望の地域にお願いしている。

(委員) 自助の訓練はやらないのか。

(行政) 今回は公助が入って、自助と共助が入る複合訓練と聞いている。

(委員) 健常者に限らないで、今回は身障者も加えて実施するとの事。3月に決っていることを、今頃自治会に連絡するのは、いろいろなことがまわらない。よくお考えを。

(行政) 早めにお知らせします。

(2) 次回以降の協議会日程について

第3回 6月30日(火) 午後1時30分 丸子地域自治センター4階講堂

第4回 7月28日(火) 午後1時30分 丸子地域自治センター4階講堂

(3) その他

・信州ルネッサンス2015について。5/30(土)~6/7(日)にわたってコンサートやイベント。音楽による相互理解、感動の共有を。

・移動市長室の実施について。日程のみのお知らせ。丸子地域は7月7日(火)実施。

・冊子「上田市協働のまちづくり指針」について説明。

--- (委員) 丸子まちづくり会議準備会もこの精神で進めていただきたい。

7 閉会 (14:35 終了)

\* 本日の分科会の開催

公共交通に関する分科会 第1議室

丸子地域の子育て支援に関する分科会 第3議室

新しい観光分科会 開催なし